



スモールステップ



9月号

命を守る学びの積み重ね

校長 西村 みゆき

夏季休業期間中、7月28日の熊本地震、そして8月13日から14日にかけての千葉県での記録的な豪雨により、多くの方々が被害を受けられました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

近年、地震や集中豪雨などの自然災害は、私たちの身近な地域でも起こり得るものとなっています。災害はいつ発生するか予測できません。そのため、日頃から備えを行い、いざという時に自分や周りの人の命を守る行動がとれるようにしておくことが何より大切です。本校では、年間を通して様々な防災訓練を実施しています。地震を想定した避難訓練では、机の下に身を隠し頭を守る行動や、安全な経路を確認しながら落ち着いて避難することを学びます。また、不審者対応訓練や引き渡し訓練、停電や火災を想定した訓練なども行い、児童・生徒と教職員が緊急時の行動を繰り返し確認しています。さらに、防災教育では、災害に関する知識を学ぶだけでなく、「自分で考え、判断し、行動する力」を育むことを大切にしています。訓練は単なる行事ではなく、実際の災害時に落ち着いて行動するための大切な学びの機会です。教職員も、児童・生徒の安全確保を最優先に考え、危機管理体制の確認や研修を継続しています。御家庭でも、避難場所や連絡方法、非常持出品の確認などについて話し合う機会をぜひ設けていただければと思います。学校・家庭・地域が連携しながら、防災意識を高めていくことが、子供たちの命と安全を守ることに繋がります。

2学期も、安全・安心な学校づくりを進めるとともに、児童・生徒一人一人が「自分の命を守る力」と「周りの人を思いやる心」を育んでいけるよう取り組んでまいります。

引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。

夏季研修会行いました

研究・研修部主任

夏季休業中に行った教員研修の内容をお伝えします。

「うめだ・あけぼの学園」の学園長・酒井先生からは「身体への取り組み」について講義をしていただき、「分離」と「協応」という視点から具体的な支援方法を教えていただきました。本校外部専門員、富岡先生からは子供たちの行動にはそれぞれ意味があり、それを読み取って支援していくことが教師の使命だという大切な心掛けを学びました。明治学院大学の小林先生からは「思春期の心身の成長と二次障害の予防的支援」という内容で御講演いただきました。

講義の他に外部専門員の先生による木工教材作成研修も行いました。児童・生徒が使用する教材について相談し、作り方についてアドバイスを受けながら教材を作成しました。夏季休業中だからこそできる充実した時間となりました。

これらの研修で学んだことを御家庭と共有しながら2学期からの児童・生徒の学びを充実させていきたいと考えています。



【富岡先生の御講演】



【教材作成の様子】

X: <https://x.com/shinatoku>

※夏季研修の様子をUPしています。ぜひ御覧ください。